

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	伝統芸能	種目	演芸
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	ゆうげんがいしやさんえいきかく				
	制作団体名	有限会社 三栄企画				
	代表者職・氏名	代表取締役 長澤 利文		団体ウェブサイトURL https://www.saneikikaku.co.jp/		
	制作団体所在地	〒 556-0015	最寄駅(バス停)	大阪メトロ御堂筋線「大国町」		
	大阪メトロ御堂筋線「大国町」					
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/>	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな					
	公演団体名	伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～				
	代表者職・氏名	代表取締役 長澤 利文		団体ウェブサイトURL https://www.saneikikaku.co.jp/		
	公演団体所在地	〒 556-0015	最寄駅(バス停)	大阪メトロ御堂筋線「大国町」		
	大阪メトロ御堂筋線「大国町」					
	制作団体 設立年月	1977年3月				
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等			
	長澤 利文	制作・舞台スタッフ9名				
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	下中 英毅		
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	小西 利子		
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス info@saneikikaku.co.jp	電話番号 0666310659			

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1977年3月に設立。</p> <p>同年、開催された朝日新聞大阪厚生文化事業団の「朝日電動車いすを贈る運動」キャンペーンに、故・六代目笑福亭松鶴を中心とした「チャリティー上方落語会」で参加。</p> <p>近畿地方を中心に18府県の中学校と高等学校で公演。</p> <p>これを機に全国の中学校と高等学校へ、上方落語鑑賞会の巡回公演を、故・六代目笑福亭松鶴と共に開始。その後は講談・浪曲・能楽・人形浄瑠璃・日本舞踊・和太鼓などの伝統芸能を中心に、演劇・人形劇・オーケストラ・JAZZなど、公演内容を拡大。</p> <p>2007年には小学生を対象とした「上方落語鑑賞会」を制作し公演対象をも拡大。現在は小学校・中学校・高等学校で開催される芸術鑑賞会を総合的にプロデュースしている。</p> <p>また2017年度の大阪市市民表彰において、芸術・芸能・科学又は学術に関して尽力した者を対象とする「文化功労」を、弊社の創設者である鳥江三也が受賞。</p>
	学校等における公演実績	<p>下記は演芸公演の実績のみです。</p> <p>2024年度:21校. 2023年度:20校. 2022年度:8校(コロナ禍の為) 2021年度:12校(コロナ禍の為) 2020年度:22校. 2019年度:63校. 2018年度:61校. 2017年度:77校. 2016年度:114校.</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>下記は全て演芸公演です。</p> <p>2024年度:無し 2023年度:無し 2022年度:無し 2021年度:無し 2020年度:無し 2019年度:赤江まつばら支援学校 2017年度:八尾支援学校. 藤井寺支援学校. 2015年度:大阪市立聴覚支援学校. 2013年度:茨木支援学校. 播磨特別支援学校. 2012年度:西淀川特別支援学校. 富田林支援学校.</p>

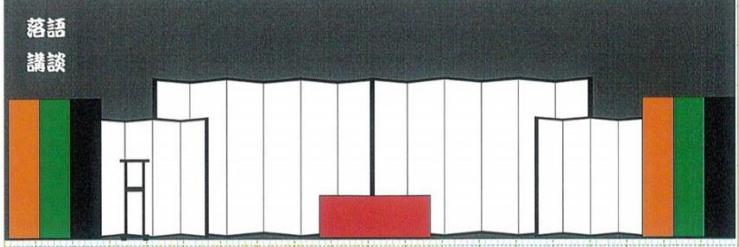
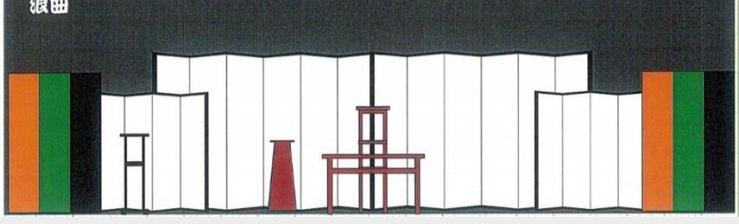
参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	PW:

別添

あり

【公演団体名 伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○	
		小学生(高学年)	○	中学生	○	
	企画名	伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～				
	企画のねらい	<p>伝統的な言語文化を親しむことのできる「落語・講談・浪曲」はそれぞれ表現が異なります。 落語は「話す芸」講談は「読む芸」浪曲は「語り芸」と言われています。 それぞれの特性を知り伝統的な言語文化に触れ楽しんでもらいながら、長く親しまれている言葉遊びから言葉の豊かさを知る中で、今回の「落語・講談・浪曲」から一人一人の感じ方などに違いがある事に気付き、自分の考えを広げる事が出来る様に導きます。 落語と講談では国語科・社会科での古典や歴史を重視。 浪曲では音楽科での唱歌などの指導の充実に繋げられる様に、一つ一つ伝統芸能の違いを知る事を狙いとします。</p>				
	演目概要・演目選択理由	<p>落語は「動物園」「七戸狐」「いらちらの愛宕詣り」 講談は「左甚五郎の水掛蟹」「荒小姓茶会」「秀吉と易者」「三日普請」 浪曲「有村の辻斬」「徂徠豆腐」「雷電と八角」「竹の水仙」「阿波の踊り子」「稻むらの火」それぞれの演目の中から実施。 選択理由については「落語」と「講談」と「浪曲」の三者の特徴が顕著であり、特有の誇張と逆説がバランス良く配合されている台本で、主人公が分かりやすく描かれており、どの演目も鑑賞した児童・生徒が「笑いの中にも違いが分かる」と実感出来る選択で、この要素が今回の演目選択時に於いて一番重視しています。</p>				
	児童・生徒の参加または体験の形態	<p>舞台上での発表体験は、落語・講談・浪曲のそれぞれから2名ずつ。合計6名を基本としています。 この6名以外の児童・生徒達は、自席から掛け声と拍手(ワークショップで指導済み)で参加していただきます。 *小学生は各学年から1名ずつの選出を基本としますが、6年生から6名選出されるなど、開催校に合わせて対応致します。 *中学生は各学年から2名ずつを基本としますが、3年生から6名選出されるなど、選出方法は開催校様に合わせて対応致します。</p>				
	児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人數目安	6名	
				鑑賞人數目安	500名	
	本公演演目	<p>落語:「動物園」「七戸狐」「いらちらの愛宕詣り」から選出 講談:「左甚五郎の水掛蟹」「荒小姓茶会」「秀吉と易者」「三日普請」から選出 浪曲:「有村の辻斬」「徂徠豆腐」「雷電と八角」「竹の水仙」「阿波の踊り子」「稻むらの火」から選出 【プログラム構成】 1、挨拶(出演者全員) 2、ワークショップの復讐(児童、生徒全体での内容の確認) 3、浪曲の鑑賞 4、ワークショップの発表 *発表は代表の6名(落語2名・講談2名・浪曲2名) *浪曲→講談→落語の順番で進行 5、講談の鑑賞 6、落語の鑑賞 7、質問コーナー</p>				
	原作/作曲 脚本 演出/振付	公演時間	90	分		
	出演者	<p>桂 雀太(落語家)又は、笑福亭 喬介(落語家)又は、林家 染八(落語家)又は、桂 九ノ一(落語家) 旭堂 南龍(講談師)又は、旭堂 小南陵(講談師) 真山 隼人(浪曲師)又は、京山 幸太(浪曲師)又は、菊地 まどか(浪曲師)</p>				
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>桂雀太(落語家)は2020年 文化庁芸術祭 新人賞受賞、旭堂南龍(講談師)は上方講談界で27年ぶりの真打昇進を果たす。真山隼人(浪曲師)は国立芸術場・花形演芸大賞金賞を受賞。 舞台監督の関西舞台は国立文楽劇場を本拠地とし、文楽・歌舞伎・伝統芸能の世界で舞台運営に従事しており質の高い技術を持つ。 音響監督のゼロワンサウンドは学校公演の実績が豊富で、体育館で公演する出演者の声の聞きやすさを保てる高い技術を持つ。</p>					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 4 名 スタッフ: 5 名 合 計: 9 名	運搬		積載量: 1 t 車 長: 5.38 m 台 数: 1 台		

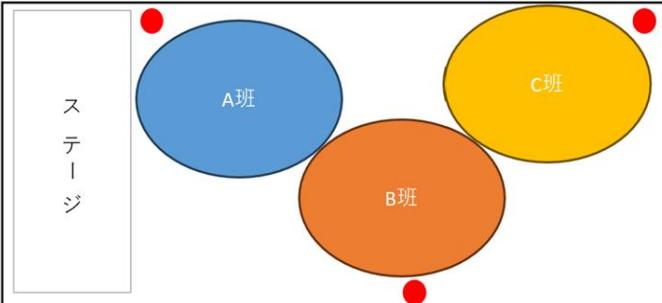
本公司 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度		
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去			
	10時	10時15分～12時15分	13時～14時30分	0分	14時30分～15時	15時		
	※本公司演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公司 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月	8月		9月		
	0日		0日	0日		19日		
	10月		11月	12月		1月		
	21日		19日	19日		14日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	92日			
本公司 ・ワークショ ップの内 容	※浪曲台は上記骨組みの図、下記掛け物で覆った実際のイメージとなります。							
	 							
								
	<p>※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡 易図面」を記載し</p>							
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要 否		該当なし	該当コンテンツ名				
	該当事項がある 場合	権利者名			許諾確認状況	内部保有		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

あり

【公演団体名 伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	「ワークショップのねらい」別添(2)にて説明		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	全校生徒(但し実施会場の収容人数の範囲内)
	<p>時間:80分(休憩は無しで行いますが、体調管理のための水分補給、トイレなどは随時対応します)</p> <p>1、「落語」「講談」「浪曲」の出演者が衣装で登場。</p> <p>*出囃子が流れる中、会場にそれぞれの衣装で出演者が登場、それぞれの芸能の起源や歴史の説明と衣装の違いを簡単なクイズ形式を入れながら説明</p> <p>2、「落語」「講談」「浪曲」の違いをわかつてもらうために同じストーリーの演目(例:桃太郎)をそれぞれ出演者が各2~3分で演じます。</p> <p>*生徒、児童にそれぞれどんな違いがあったのかを挙手してもらいます。</p> <p>*統括して出演者から違いについて説明(衣装や内容、表現方法などを説明)</p> <p>3、「落語」「講談」「浪曲」のレクチャーを行う(20分×3グループ)</p> <p>*生徒、児童を出来るだけ均等に3グループに分かれてもらい、各出演者がグループごとにローテーションしてレクチャーします。</p> <p>*開催校の意向など確認し各グループのレクチャーは教室に分かれて行うことも対応します</p> <p>4、グループごとのレクチャーが終了後、全グループを合わせて質疑応答を行う。</p> <p>ワークショップの内容については下記の要素をポイントにします</p> <p>*落語・講談・浪曲のレクチャーから特性を知り伝統的な言語文化に触れ、楽しんでもらいながら「深い学び」の視点を意識するために大切と考えられるポイントを伝える。</p> <p>落語:舞台道具の紹介、落語の歴史・技法の説明。</p> <p>小唄の披露から登場人物の個性を明確にし、会話中心の表現だけでなく扇子や手ぬぐいを使用した所作での身振り手振りで、視覚的表現を交えて構成しています。</p> <p>講談:舞台道具の紹介、講談の歴史・技法の説明。</p> <p>一息語りの披露から“読む”という意図を読み聞かせ、また、釧台という小机を置き、張扇を節に合わせて叩き音を出しながら演ずるため言語表現のなかに聴覚でも感じる構成にしています。</p> <p>浪曲:舞台道具の紹介、浪曲の歴史・技法の説明、</p> <p>節作りの披露から三味線の伴奏と共に言葉に節をつけて歌い表現し感情の高ぶりや情景を強く際立させ、言語表現の中に歌と三味線を交える事により感性に訴える構成にしています。</p>			
	ワークショップ実施形態及び内容	<p>ワークショップの3グループ編成の一例</p>  <p>⇒出演者 班は相談の上、事前に班分けを行います。 班の配置は一例です。</p>		
	その他ワークショップに関する特記事項等	<p>※A4判3枚以内に収まるように作成してください。</p>		

別添

なし

【公演団体名 伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかつた。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。				

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	0 A以上	
	舞台設置面積	間口 高さ	7 m 4 m	奥行	3.6 m
	舞台設置場所	フロア対応	条件が合えば可	学校のステージでの対応	可
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	2 m
	遮光の要否	遮光要件なし	緞帳の要否	あれば使用する可能性がある	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定 ピアノを使用しない場合の移動の要否		
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の 搬入対応可能距離	5 m以内	
	搬入車両の種類	ハイエース	台数	1 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	1.88 m	車長	5.38 m
	備考				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	会場写真・搬入経路・ブレーカーの位置・生徒が座る場所(位置)の写真が有れば有難いです。			

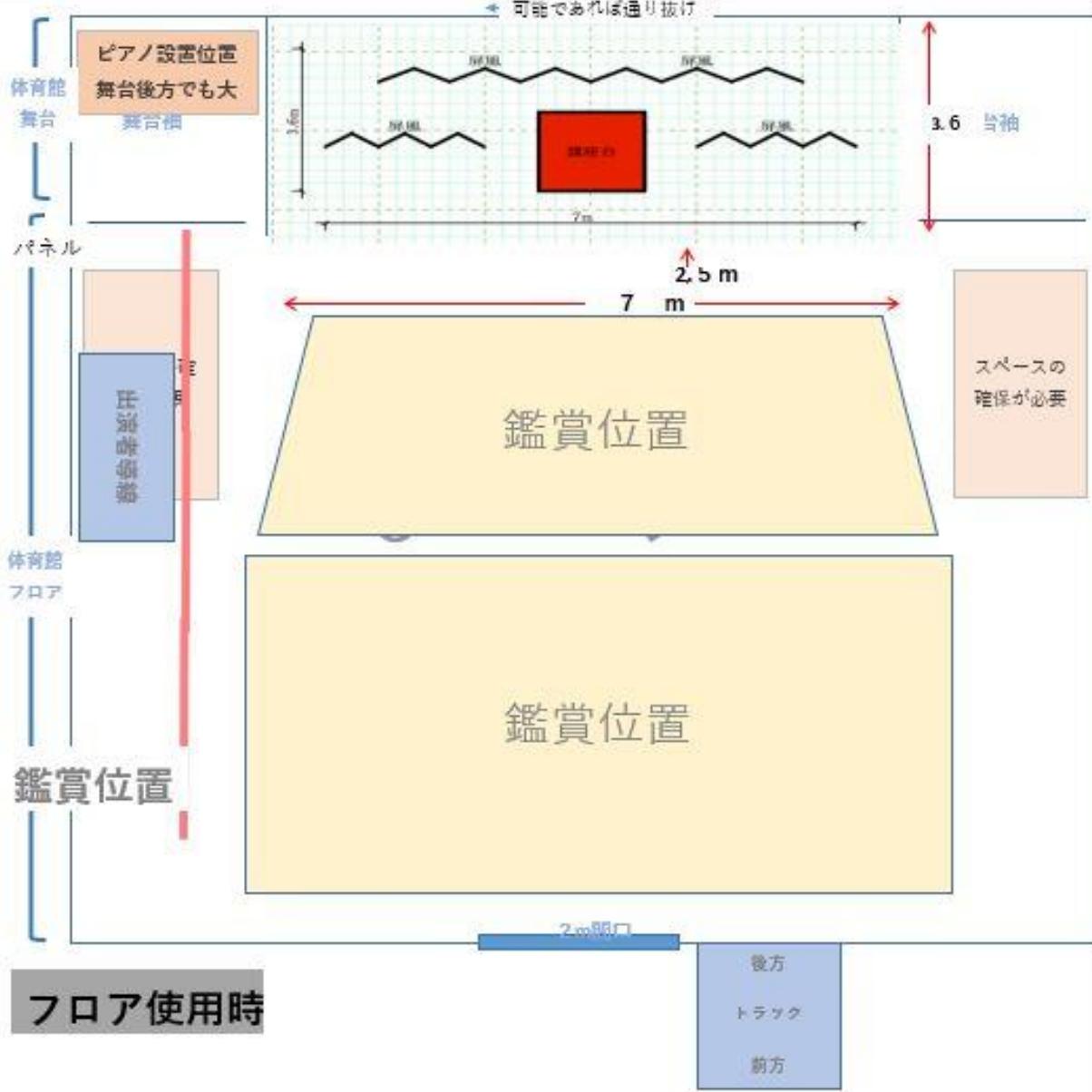
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。							
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。								
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。								
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考				
	ワークショップ								

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	

(任意)

会場条件について最低限必ず条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名 伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～】

本事業への応募理由等	<p>本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫</p> <p>【本事業を通じて実現したいこと】</p> <p>伝統的な言語文化を親しむことのできる伝統芸能(落語・講談・浪曲)の伝承伝達と普及を通じて、それぞれ表現が異なる芸の違いを鑑賞、解説、体験を用いて表現方法が違うこと伝えます。特性を違い知り伝統的な言語文化に触れ、親しみ楽しんでもらいながら、特に落語では、視覚的表現、講談では聴覚的表現、浪曲では感性表現を実演、解説します。そのような視点から児童・生徒に対しては一人一人の感じ方の違いを気づき、自身の考え方を広めてもらう為にも、本事業の基幹となる三つ話芸(伝統芸能)を、一度に実感体感が出来る公演内容を基に実施して参ります。</p>
	<p>【上記の実現に向けて、実施の工夫】</p> <p>児童・生徒の皆さんには落語・講談・浪曲と言う3つの話芸(伝統芸能)とは、概ね初めての体験だと想定した上で、長年学校公演に携わって来た三栄企画(制作団体)が、学校公演に長けた出演者だけを厳選の上で選び出して派遣致します。また舞台音響スタッフも学校公演に精通してますので、より良き環境の中で初めての伝統芸能を、自然と受け入れられる体制を整えました。</p>
	<p>【学校との連絡調整について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施校確定後、各校のご担当者様に電話連絡で挨拶をさせていただきます。挨拶の際、弊社からの電話連絡は、ワークショップ開催日の1か月前、1週間前、前日になると、ご質問については弊社からの電話連絡に関係なく、いつでも対応可能であることを伝えます。 豪雨や地震などの天災が発生した場合、また新たに感染症等が拡大している場合は、各自治体におけるガイドラインについて確認し、実施校のご担当者様と最善の方法を協議して対応することを伝えます。
	<p>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</p> <p>対象になった児童・生徒に対してましては、指導致しますのが学校公演に長けた出演者ですので、此処の特性や特長を見極めた上で、此処が対応出来るレベルの範囲内を、各々1人1人に合わせてのオーナーイン体制で丁寧に導いて参ります。また指導終了後も動画等で細やかに補足しながら、本公演まで児童・生徒にストレスが溜まらない体制を整えています。</p>
事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	<p>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</p> <p>それぞれ表現が異なる伝統芸能の違いを鑑賞し体験もして頂いたので、視覚的表現・聴覚的表現・感性表現がより一層研ぎ澄まされます。また一人一人の感じ方の違いにも気づき、自身の捉え方や考え方の幅を広める礎となります。</p>

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.2 【公演団体名 伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～】



一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.3-①	【公演団体名 伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～】
------	--------	----------------------------

「ワークショップのねらい」
伝統的な言語文化を親しむ事が出来る「落語・講談・浪曲」は、それぞれ表現が異なります。
落語は「話す芸」講談は「読む芸」浪曲は「語り芸」と言われています。
それぞれの特性を知り伝統的な言語文化にも触れ楽しみながら、長く親しまれている言葉遊びの豊かさを知る中で、今回の「落語・講談・浪曲」からは、一人一人の感じ方などに違いがある事に気付き、自分の考えを広げる事が出来る様に導きます。
また学校現場の生きた教材として、落語(講談)は国語科での古典を重視させ、講談が伝える歴史や史実からは、多角的な思考や理解を通して、社会科でも学ぶ歴史や伝統を大切に想い、国を愛する心情や平和を願う日本人として、世界の人々と共に生きる大切さについての自覚も養います。
浪曲は音楽科の唱歌などの歌唱指導の充実に繋げられる様にと、一つ一つの伝統芸能(話芸)の違いを知る事を狙いとし「総合的な学習の時間」への取り組みも合わせて担います。

項目内容